

令和7年度 第1回中井町学校運営協議会 学校部会 議事録

日時 令和7年4月24日(木) 18:40~19:30

場所 中井町農村環境改善センター 2階 研修室I

出席者 学校運営協議会委員(5名)

PTA代表 渡邊 智美 様

スクールディネーター 小清水 万里 様

学識経験者 梅橋 一夫 様

自治会代表 大野 広行 様

学校長 津川 由夏

学校事務局(教頭、担当教員)

教頭 古谷 伸彦

教務 沖津 晴一(記録)

1 学校長より

始業式で「みんなで楽しい学校を創ろう」と話したが、それを踏まえて早速、「笑顔満開、みんなが輝く井ノ口小学校をつくろう」という児童会目標を考えてくれた。「こんなロゴになりました。」と嬉しそうに話してくれて良いスタートが切れたと思う。

今年は色々な意味で一番国際色豊かであり、子供たちの多様性もすごく豊かである。

また、職員が元気で楽しいと、子供たちも楽しくなる。子供たちと一緒にみんなで楽しい学校を創っていきたいと思っている。ぜひみなさんの力をお貸しいただきたい。

2 意見交流(司会:教頭 記録:教務)

(1) 質疑・応答

(委員)

今年度は全校で何人か。

(校長)

全校で179人、一年生は34人、全学年一クラスである。

(委員)

安全パトロールをやっているが、挨拶が弱い気がする。地域としての繋がりが少ないからではないだろうか。菘笠神社の太鼓の役員をやっているが15、6人しか参加していない。地域とのつながりが薄くなった分、知らない地域の人へは挨拶ができなくなっているのではないだろうか。

(委員)

学校に来ると各教室に行って挨拶をしているが、学年が上がるにつれて声が小さくなる。

国際の子たちもだいぶ日本語が分かるようになってきた。ただ、国際の子たちで集まってしまふとなかなか日本語が上手にならない。保護者も外国籍の家庭だけで集まることが多いので、学校や地域の行事に参加してもらえるとよい。

(委員)

FC中井の立ち上げの時から関わっているが、そのころの子供たちともまだ繋がっている。地域の中で自分の見られるところから地域貢献を推進していくとよいと思う。

(委員)

学校の教育目標がみな違っている。中学校は小学校の目標を基に作ってはどうか。運動会で徒競走は無くなったが、異学年で協力して頑張っていたのはよかったと思う。

子供が学校に通ってれば保護者同士で顔がわかるが、知らないと地域でも挨拶はしにくい。子供会が無くなってきているが、仕事を減らすと子供会に参加できる人も増えるのではないかな。

(2) 中井町立小中学校の「目指す子ども像」について

(委員)

防災訓練やあかりの祭典など地域の体験活動を伴う行事に子供たちも参加してはどうか。お祭りの際に子供たちは遅くまでずっと太鼓を叩いていた。その原動力は格好よく太鼓を叩いているお兄さんやお姉さんたちで、彼らに自分たちの姿を見てほしいという思いもある。

逆に地域の人たちも運動会や昔遊びなどの学校行事に参加してはどうか。運動会の中井音頭はとても良かった。

また、2年生に学校の自慢を聞くと「安全パトロール」と言っていた。そう言ってもらえると元気がもらえる。

(校長)

米作りなども参加したいが、決められたカリキュラムがあるので、どのようにバランスをとって実施していくかが難しいところでもある

(委員)

社会科で地域に貢献した人の学習や地域学習があるので、教育委員会などでデータベース化してもらえるとよいのではないかな。生活科の野菜作りにこの人を呼ぼうとか、先生たちも連絡が取りやすいと思う。

(校長)

いただいた意見を一つでも二つでも実現できれば、それが子供たちのためになると思う。踏み込んだ取り組みを大事にしていきたい。いろいろと貴重なご意見ありがとうございました。

3 連絡事項

第2回 9月17日(水) 13:00 小学校

第3回 2月25日(水) 13:00 小学校

第4回 3月16日(月) 18:00 農村環境改善センター

1ヶ月ぐらい前に連絡する。